

☆栄養士による食育コーナー☆

1歳を過ぎたらスプーンやフォークを使って食べる練習を始める方も多いと思いますが、みなさんはどのようにお考えですか。スプーンを投げたり、食べこぼしたり、うまく食べられずかんしゃくを起こしてしまったり、いろいろな経験を重ねて上手に食べられるようになっていきます。親御さんはとても大変ですが、急がず、お子さんのサポートをしていけたらいいですね。

《スプーンに興味を持つために…》

スプーンやフォークを手の届くところに置き、いつでも興味を持てるようにする



すくう、刺す、口まで運ぶことをサポートし、自分でできたという満足感につなげてあげましょう！



※少しでもやろうとした時できた時には、たくさん褒めてあげましょう。
お子さんのやる気がでてきてどんどんチャレンジする子になっていきますよ！

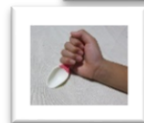
《スプーンやフォークの持ち方》

・乳幼児期の子どもの手指は、小指のほうから発達し、次に親指のほうにも力が入るようになります。

ステップ1: 小指に力が入っている頃は…手のひら握り



ステップ2: 親指に力が入るようになると…指握り



ステップ3: 自分で食べる経験を重ねるようになると…鉛筆握り



※持ち方には個人差があるため、手のひら握りをせずに指握りをするお子さんもいます。手や指と同じく、乳幼児期は関節の動きも未熟です。最初は肘を曲げて食べ物を口に運びますが、徐々に肩や手首など動かして、上手に口まで運べるようになっていきますよ。

食事の環境を整えて、食の意欲を高めましょう

☆大人の食べる様子を見て、食べ物に興味を持ち、食べ方を学んでいけるので家族一緒に食事ができたらいいですね。食べることの楽しさを感じる事がよりできますよ。



できれば、食事中はテレビなどを消し、おもちゃは食卓から見えない場所に置きませんか～



みんなでご飯を食べるって楽しいな♪と感じられることが、食への意欲・心の育みへとつながります。心の豊かさが、次のステップへの後押しにもなりますので、「秋のおいしい！」をご家族みなさんで味わい、感じられるといいですね！

養成教本「幼児食の基礎知識＋幼児食移行期の食事」より参照・参考

月1回 栄養相談 9:00～11:00 実施

わからないことや悩んでいること等、どんなことでもOKです！

(詳しくはHPをご確認ください)